

みんなの家みんなのお便り

みんなか通信 秋号 NO.5

誰もが「ただいま」といえる家

児童養護施設退所者ならびに生活困窮にある若者の自立支援の居場所づくり

みんなか建設に向けて



10月には設計事務所さんの提案により、古材計測のワークショップを開催していただきました。

2019年にSさんの旧家を解体するという話を偶然に聞き、「もったいないのだけれど、仕方がない」と、思い出の詰まった家が廃棄されることを残念がられていました。みんなかの構想をお話したところ、「活用してもらえるのであればうれしい」とのことで、解体した資材を引き取らせていただくことになりました。

立派なお家でしたので、大きな梁や柱、立派な建具などもありました。可能な限り本みんなかの資材として活用できるよう、本みんなか建設まで倉庫に保管していたものを、23名の方のお力をお借りしながら、一つひとつ確認し、状態、採寸、写真撮影などを行いました。廃材となる予定だったものを少しでも生かすことができれば、Sさんの家の歴史の一部をみんなかが引き継ぎ、資材だけでなく、家に対するSさんの思いも大切にできるのではないかと考えています。

Twitter はじめました！



みんなの家みんな
公式 Twitter

お友達追加してね！



LINEよりも、気軽に情報発信、交流がしやすいとのアドバイスをいただき、Twitterのアカウントを開設しました。@37minka(みんなみんな)開設後、2週間ほどでフォロワー数が100名になり、児童養護施設を退所した若者やサポーターの方たちの声を聞くことができています。近くであれば、みんなかに来てみたいというメッセージをいただくこともあります。

少しずつ、みんなかがお手伝いできる若者との接点が生まれてきました。

収穫の秋 (お米づくり)

みんなを応援してくれている人たちと稲の収穫をしました。「愛をコメテ、思いをコメテ」と、Comete Farm というグループを作り、農薬や化学肥料などを使わず、お米作りをしています。

1年間大事に育ててきた稲の収穫には、福岡市内や近隣の子どもたちも参加し、汗を流しました。11月からはみんなでも新米を食べることができるようになると思うと今から楽しみです。



収穫の秋 (梨づくり)

みんなには、近隣農家さんからお預かりした梨の木が5本あります。農薬や化学肥料を使わず、剪定・摘花・摘果・袋掛けなどをしながらわずかですが、無事に収穫することができました。

量は取れませんでしたですが、今年も、甘く、おいしい梨をいただくことができました。



短期滞在

9月下旬、東京から22歳のMさんが、約1カ月の体験滞在にやってきました。いろいろと課題を抱えているものの、これから先のことを考える時間として、過ごしてくれたようです。かんぱんづくり、掃除や料理など、得意なことから、積極的にみんなの生活にも参加してくれました。最終日、Mさん自身、今後こうしたいという思いを話してくれたことは、現在、抱えている課題を乗り越える力になるのではないかと感じました。もっと、私たちにできることはないのか、そう思いながら「いつでも、帰ってきていいからね」そう伝えて、見送りました。

Mさんの滞在で、私たち自身、みんなという居場所づくりに関する課題も与えていただきました。10月末には、2人目のSさんが、東京からやってくる予定です。

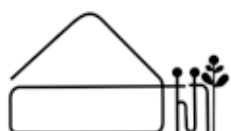


編集後記

秋は、本当に食べ物に恵まれます。道を車で通っているだけで、梨や野菜などをいただけます。収穫するには、それまでに土をつくり、種をまき、育てるという手間をかけたからこそ。まさに、努力の結晶。

みんなは、まだまだ経験不足ですが、一つひとつ学びながら環境整備を進めていきます。

管理者: 師岡 知弘
住所: 838-0072 福岡県朝倉市黒川1762-2
TEL: 090-9705-4406
Email: info@37minka.com
HP: https://37minka.com



みんなの家
みんな



みんなの家みんな
公式 LINE

お友達追加してね!

